

学科名	一級自動車科				
科目名	体験実習（インターンシップ）				
履修年次	4年次	履修学期	8月～10月	授業形態	実習
時間数	220時間				
担当教員		実務経験			
目的	各企業様と連携し、実際の現場で、整備体験、CS活動、企業の環境と安全を学び、企業人としての行動力及び思考力を身に付ける目的				
到達目標	社会人としての自覚が持てる 接客、礼儀、マナーが出来る				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容				時間数
	導入教育 企業組織と命令系統				20
	会社各部署の業務内容、人員配置、整備工場の設備等を知る				8
	CS活動 CS活動の実際を知る、挨拶				4
	電話対応、顧客対応				24
	整備体験 基本的な整備体験 部品の供給体制 車両受け入れから納車までの流れ 高能率作業				92
	整備料金算定 見積書作成				8
	有難度整備作業 新技術への対応				48
	企業の環境と安全 整備工場の維持管理手法、環境、安全				16
					220
使用教科書					
成績評価の方法	A：100～80 B：79～60 C：59～50（合格） D：49以下（不合格）				

学科名	一級自動車科				
科目名	評価実習（点検整備、故障探究、総合診断）				
履修年次	4年次	履修学期	4月～7月、11月～1月	授業形態	実習
時間数	710時間				
担当教員	小野寺 敬 司・猪 股 宣 明・山 本 裕 貴・阿 部 淳・上 杉 裕 紀				
実務経験	全員が自動車関連会社にて勤務し、メカニックの経験がある。				
目的	実車やベンチエンジンを用いて、電気回路の基礎を学び（4～7月）、センサの特性、ECU制御、アクチュエータの作動をより深く理解し、電子制御装置の故障探究技術を身に付け、総合診断では即戦力となりうる実践的な技術力を身に付ける				
到達目標	デジタルサーキットテスタの使用ができ、電気回路の点検ができる 電子制御装置の故障探究ができる 外部診断器及び振動騒音分析器の使用ができる				
目標資格	一級小型自動車整備士				
授業計画	授業内容			時間数	
	4月～7月 点検整備				
	電気回路点検、断線短絡点検			56	
	各センサ（バキューム、水温等）点検方法（ECU良否判定含む）			56	
	インジェクタ、ICSVの波形読み取り（オシロスコープ使用）			56	
	エンジンの各制御について			42	
	電子制御AT・ABS各センサ、アクチュエータ点検方法			77	
	電子制御PS各センサ、アクチュエータ点検方法			28	
	7月、10月、11月 故障探究				
	AT・PS・ABSダイアグコードの確認			21	
	オートエアコンの診断基礎と応用学習			21	
	ダイアグコードを持つ診断と持たない診断			14	
	テスタによる故障探究			16	
	論理、リニア、周波数、その他のセンサの故障探究			35	
	燃料系統（インジェクタ、フューエルポンプ）故障探究			14	
	コントロールユニット故障探究			14	
	11月～1月 総合診断（総合的な復習含む）				
外部診断器の取り扱い			5		
エンジン総合診断（出力不足、アイドル不調、エンジン始動不良等）			80		
シャシ総合診断（加速不良、変速不良、ハンドル重い等）			80		
振動分析器の取り扱い			20		
タイヤホイール振動、プロペラシャフト振動、シェイク					
こもり音、ビート音、エンジントルク変動、シミ等測定			75		
				710	
使用教科書	エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置				
成績評価の方法	前期期末試験・後期期末試験 A：100～80（合格） B:79～60 C:59～50 D:49以下（不合格）				